

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果及び住民の満足度	今後の課題及び取組方向
総務企画部	高橋博英	地域企画課	企画・県民生活班	高橋浩人	0182-32-0594	角館・増田二次交通アクセス事業	・集客力の高い仙北市角館地区と横手市増田地区とを結ぶバスを運行することにより、両地区での観光流動の促進を図るとともに、県南広域における観光客の滞在時間の延長をめざす。	247,000	補助金	・仙北市角館地区と横手市増田地区間の直通バスの運行(往復運行)	羽後交通(株)	角館地区の観光客等	平成25年4月1日	・直通バスの往復運行について、秋田DC期間に合わせ実施し、限定的是あるが、県南地区の観光流動の一助になったものと考えられる。	・現時点での利用者が多くないことは明らかである。この直行バスの認知度が低いことはもとより、増田自体の認知度も角館に比べれば、まだ高いとは言えない。
						平成25年8月～平成26年1月	・実施期間：平成25年9月14日から平成25年12月8日までの土曜日、日曜日及び祝日			・これまで、角館・増田間を結ぶ直通バスの運行は行われていなかったことから、利用者の利便性は高まったのとも考えられる。			・二次交通アクセスが大事であることに異論はないが、まずは、増田(あるいは横手市)自体の価値に気付き、その認識に共感し、共有してくれる人の輪を拡げていくことが先決。また、そうした取組を進める人をつくり、支援することが必要である。		
総務企画部	高橋博英	地域企画課	産業振興・食の郷づくり推進班	高山好美	0182-32-2117	道の駅交流物産展支援事業	・秋田・岩手両県の県南地域の観光物産資源を県内外にアピールするため、観光物産の拠点となる道の駅相互による交流物産展を開催する。 ・食文化・特産品の異なる他地域と連携し開催することにより、多様な魅力を持つイベントとして、特産品のPRに留まらず、今後の交流人口拡大にも資する取組に位置づけている。	506,803	直営	①道の駅交流物産展の開催(秋田県開催分) ・各道の駅(さんない、十文字、おがち)にて計3回の開催	秋田県、道の駅さんない、おがち、十文字、さんりく、遠野風の丘、錦秋湖	管内住民	平成25年4月1日	・4年目を迎え恒例イベントとして定着しつつあり、民間主体の交流や情報発信の場として活用されている。	・各道の駅で開催される「道の駅交流物産展」は道の駅主体での物産展実施の体制が整ってきているが、開催要領の作成、開催日程調整については、県が主導で進めるほか、県のHPを利用した宣伝等を行い引き続き支援していく。
						平成25年8月～11月	②他事業付帯「あきたがんばろう市」の開催 ・JR秋田駅構内ぼぼろーどにて計4回の開催			・道の駅では、管内の農家や食品事業者の商品を多く扱っており、道の駅の売上が地域経済に与える影響は大きい。県内外に向けたPRの場として交流物産展を行うことで、多くの人の目に触れることにより、商品認知度の向上、販売促進に繋がっている。			・また、今年度のように秋田県が主催するイベントでの同時開催や、参加する道の駅を増やすなど、PRの場を拡げ観光誘客促進及び物産の販売促進に繋がるよう検討する。		
総務企画部	高橋博英	地域企画課	企画・県民生活班	高橋浩人	0182-32-0594	アフターDCに向けた支援事業	平成25年10月～12月の秋田DC(デスティネーションキャンペーン)期間終了後に、その勢いを後退させることなく、当管内への継続した誘客につなげるため、機能合体している横手市の観光部門と連携した支援策を講じる。	697,710	直営	①総合旅行雑誌への広告掲載 増田のまちなみと横手の雪まつりを絡めた内容の広告を掲載した。	平鹿地域振興局総務企画部	旅行雑誌購読者等	平成25年4月1日	・広告を掲載した総合旅行雑誌の発行部数は全国で約19万部となっており、同様な旅行雑誌の中では最大規模。 また、その購読者層は、増田蔵の日にいったアンケート結果から得られた観光客層データとも重なるところが大きいことから、可能性のあるターゲットへの波及効果が期待される。	重伝健に限らず、「横手市(増田地域)に住む人々が自らのまちの魅力に気づき、それを今後のまちづくりでどう活かしていくか」というテーマを、いかに多くの市民と共有できるかが課題であり、また、その共有、共感の輪を広げていく人材を育成し、支援していくことが求められている。
						平成25年12月～平成26年3月	②重要伝統的建造物群保存地区の先進事例について、景観保護への取組や活用方法等に関する現地視察を行い、今後の増田地区に係る観光振興施策検討の参考とした。 ・日程：平成26年3月 ・視察地：大分県日田市(豆田地区)等			・(一社)日田市観光協会の職員等から、これまでの日田市観光に関する取組や今後の課題等を説明していただき、これからの増田の観光施策の参考となる知見を得た。					